



## 旧矢掛本陣石井家住宅



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	きゅうやかげほんじんいしいけじゅうたく
所在地	矢掛町矢掛
指定年月日	昭和44年6月20日
解説	<p>旧山陽道に面した約4,000平米の敷地に主屋、座敷など11棟の建物が建つ。主屋と座敷は18世紀末から19世紀初頭の建築と推測されている。主屋は桁行21.4m、梁間9.0mで、一部二階、入母屋造、本瓦葺である。東側を通り土間とし、西側に部屋を並べている。座敷は二列に並ぶ五室と、その両側の入側からなり、上手奥に床、棚、書院がついている上段の間が所在する。主要街道の本陣遺構として類例が少なく貴重。石井家は江戸初期から本陣職を勤め、また酒造業を長く営んだ。</p>
アクセス方法	井原鉄道矢掛駅から徒歩10分
公開状況	入館：3～10月9:00～16:30、11～2月9:00～15:30、入館料必要、休館：月曜(祝祭日の場合はその翌日)
設備	駐車場  トイレ 
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	旧矢掛本陣石井家住宅
よみかた	きゅうやかかげほんじんいしいけじゅうたく
しょざいち (所在地)	矢掛町矢掛
していつひ (指定した日)	昭和44年6月20日
せつめい	江戸時代(えどじだい)の諸国(しょこく)の大名(だいまよう)が参勤交代(さんきんこうたい)の時(とき)に、宿所(しゆくしょ)にした建物(たてもので、旧山陽道(きゅうさんようどう)ぞいにある本陣(ほんじん)として有名(ゆうめい)です。石井家(いしいけ)は、ふだんはお酒(さけ)を造(つく)ったり、販売(はんばい)したりしていました。現在(げんざい)は、公開(こうかい)されており、内部(ないぶ)を見学(けんがく)できます。